

Juliette Binoche un film de André Téchiné  
Mathieu Amalric

# 溺れゆく女

*Alice et Martin*

Scénario et dialogues de

André Téchiné et Gilles Taurand

Alain Sarde présente Juliette Binoche "Alice et Martin" un film de André Téchiné Alexis Loret Mathieu Amalric Carmen Maura  
Marthe Villalonga Jean-Pierre Lorit Roschdy Zem Scénario et dialogues de André Téchiné et Gilles Taurand Musique de Philippe Sarde  
Une coproduction franco-espagnole Les films Alain Sarde Vertigo Films France 2 Cinéma France 3 cinéma  
avec la participation de Canal+ et Studio Images 4 Producteur associé KUZUI ENTERTAINMENT

はじめて愛したのは、過去を持たない年下の男...

アカデミー受賞女優ジュリエット・ピノシュが12年ぶりに  
フランスの巨匠アンドレ・テシネと手を組み、再び愛の傑作を生み出した。

製作：アラン・サルド 共同製作：KUZUIエンタープライズ 監督：アンドレ・テシネ 出演：ジュリエット・ピノシュ／アレクシス・ロレ  
脚本：アンドレ・テシネ／ジル・トラン／オリヴィエ・アサギス 1998年／フランス映画／アメリカンヴィスタ／ドルビー-SRD／カラー／124min

提供：KUZUIエンタープライズ／バイオニアLDC 配給：KUZUIエンタープライズ 配給協力：バイオニアLDC

<http://www.kuzui.co.jp/alice/>



BAC www.bacfilms.com



「わたしはシナリオを読む前にこの映画への出演を決めた。

テシネの映画、それだけで十分だった。」

—ジュリエット・ピノシュ『トリコロール／青の愛』『イングリッシュ・ベジエント』

「ピノシュが得意なのは、煙草をふかし、時には乱暴な言葉を発する強い女の役だ。  
わたしにはそのことがよく分かっている。」

—監督 アンドレ・テシネ『野性の薫』『夜の子供たち』

アカデミー受賞女優ジュリエット・ピノシュが  
12年ぶりにフランスの巨匠アンドレ・テシネと手を組み、  
再び愛の傑作を生み出した。

『ランデヴー』から12年。二人にとって新たなキャリアのステージとなるこの新作で、テシネは家族、アイデンティティ、愛という深遠なテーマを、謎めいたサスペンスの香りを漂わせながら激しく詩的に物語り、ピノシュは情熱的なパフォーマンスで華麗さと品格を注ぎ込んでいる。今回、マルタン役に抜擢された新人のアレクシス・ロレは監督自ら数ヶ月に渡ってファッション界を探し回った末に見つけた。今やブラダをはじめとする一流デザイナーに引っ張りだこの彼は自然でシンプルな演技にも拘わらず、絶大な存在感を見せつける。

再びピノシュと仕事をしたいという想いを抱いていたテシネにとって、アリス役に彼女を、という発想はごく自然のものだった。一方、『ランデヴー』の頃まだ経験の乏しかった私を信頼してくれたことは本当に素晴らしいことだった」と語るピノシュにとって、テシネの映画への出演には格別な重要性がある。これまでに比較的多かったセリフの少ないピノシュの演技とは反対に、テシネは本作で大いに言葉を喋らせ、限界を知らない彼女の才能を最大限に見せている。

バイオリン奏者のアリスと過去を隠した青年マルタン

ある日突然失踪し、パリに住む兄のアパートに転がり込んだ20歳の青年マルタン。彼はそこでアリスという美しいバイオリン奏者に会った。たちまち狂おしい恋に落ちるマルタン。その一途な思いに抗しきれず、彼への愛に溺れていくアリス。二人は深く愛し合い、幸せなひとときが流れた。しかし、アリスが妊娠を打ち明けた時、マルタンは過去の記憶にとらわれる。アリスは彼との愛を貫くため、マルタンの過去を辿り始めた ——。

40人以上の登場人物と60もの背景。

透明感あふれる情景描写が  
ドラマティックな物語により深い印象を与える。

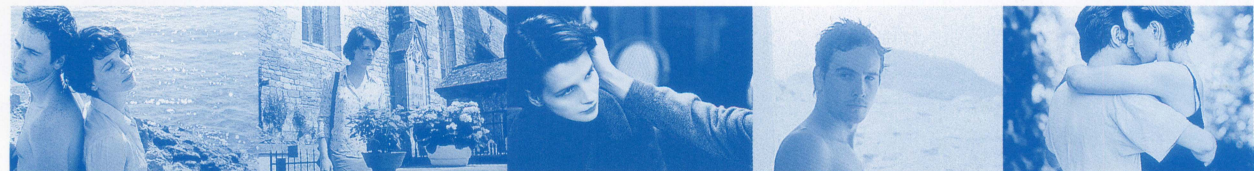
本作の撮影は真冬のパリと、真夏のスペイン。その合間には海辺のシーンも挿入される。

テシネは今回はじめて2台のカメラを使って異なるアングルから一つのショットを撮影。名手カロリーヌ・シャンブティエのカメラが俳優たちの息づかいを感じさせる濃密な映像空間を作り出し、絶妙な効果を上げている。

## 溺れゆく女

出演：ジュリエット・ピノシュ／アレクシス・ロレ／マチュー・アマルリック 製作：アラン・サルド 共同製作：KUZUIエンタープライズ 監督：アンドレ・テシネ  
脚本：アンドレ・テシネ／ジル・トラン／オリヴィエ・アサヤス 音楽：フィリップ・サルド 1998年／フランス映画／2時間4分／カラー／アメリカンヴィスタ／ドルビー-SRD／7巻3,704円  
提供：KUZUIエンタープライズ+バイオニアLDC 配給：KUZUIエンタープライズ 配給協力：バイオニアLDC

<http://www.kuzui.co.jp/alice/>



**12月23日(土)より待望のロードショー!!**

**12/23(土)~29(金) 連日 11:25 1:50 4:15 6:40**

●12/30(土)~1/19(金)は、PM8:40(終10:44)よりレイトショー上映!!(1回限り) [12/31・1/1は休映]

特別鑑賞券1500円好評発売中!!

■当日/一般1800円、学生1500円、  
高校1300円、シニア1000円

**シネ・ヌーヴォ**

地下鉄中央線「九条駅」6番出口下車  
大塚ドーム方向へ徒歩2分

**TEL06-6582-1416**

<http://terra.zone.ne.jp/cinenouveau/>

